

第1回：令和3年6月30日（17名参加）

第2回：令和3年10月7日（17名参加）

第3回：令和4年2月10日（書面開催）

学校関係者評価記入シートまとめ

4段階評価の集計

市内 共通	1	学校の教育目標の達成に向けて具体的な目標を設定し、校長を中心に組織的に学校運営や教育活動を行っているか。	3.5
	2	自己評価表を分析して具体的な改善方策を実施し、課題が改善されているか。	3.5
	3	教育活動や評価結果に関して、分かりやすく情報提供できているか。	3.3
	4	保護者、地域住民は、学校運営に積極的に参加・協力しているか。	3.0
	5	学校運営協議会は、適切に運営されているか。	3.3
学校 独自	6	校区の危険箇所の確認や児童の登下校の安全確保など、学校と保護者、地域が連携して、危機管理ができているか。	3.3
	7	新型コロナウイルス感染症対策は適切であったか。	3.5

【具体的改善策等の提言】

- 「学校が楽しい」と感じる子どもが多いことが、学校運営がうまくいっている証拠だと思う。
- 「学校だより」は報告事項だけでなく、スポーツドリンクやコロナのこと、「文武両脳」の育て方などの情報もあり、勉強になった。
- 簡単な報告等はメールやグループLINEを活用する等、コミュニティ・スクールの組織をもう少し気軽に活用して、活動を活発にしたい。
- どの学校でも同じ傾向が見られるのだと思うが、「子どもたちは読書を楽しみにしていることが多いのに、家庭では読んでいない。」という結果を見ると、「遠回りなようにも、心や学びを支える部分を伸ばす手立てがないかな。」と考える。忙しい先生方も、読書の時間は子ども向けの本をいっしょに読んで楽しんでもらえればと思う。
- 新型コロナウイルス感染拡大により、様々な活動に制限があるが、学校としてのルール等の周知が不十分ではないかと思う。今後コロナウイルスが緩和するとしても、保護者、地域の方々が理解できるような取組が必要である。
- 子ども、保護者、地域の方の意見を聞く。一部の意見ではなく、様々な意見を取り入れる。同じ顔ぶれの意見しか反映されていないと思う事がある。
- コロナ対策もそうであるが、PTA活動等学校が見えていない。地域への情報発信も同様である。
- あいさつについては、地域や家庭への啓発と児童の委員会活動などの主体的な活動が重要であると考えます。また、本校の課題でもある家庭学習の習慣については、自ら学びに向かう手立てについて小・中で研究していく必要性を感じる。